

70回生(1年生) 岡山県赤十字血液センター見学

けんけっちゃん



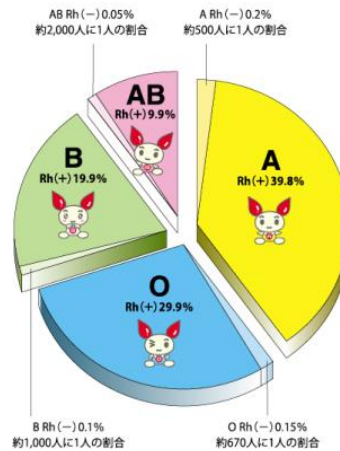
7月は「愛の血液助け合い運動」月間です



私たち70回生は、7月27日に岡山県赤十字血液センターの見学に行きました。職員の方に血液製剤の種類や有効期間、保管方法などを詳しく教えていただきました。安全性の高い血液を患者に届けるまでに、多くの人に関わり、検査や温度管理などを徹底していることが分かりました。看護師として知っておかなければいけないことだと感じました。

(Oさん)





献血ができるためのいくつかの基準があります。問診や検査をしてから採血をします。



ヘモグロビン濃度を測ったら基準値より低かったです。しっかり食事を摂ろうと思います。

体重や血圧もチェック。体重は採血方法によって基準が違うそうです。

血管の太さを見てもらいました。細いと採血が難しいそうです。





学生も献血にチャレンジしました



若い人の献血の割合が低いことを知りました。一人の人間として、少しでも誰かの命をつなぐのであれば、献血をしたいと思いました。 (Hさん)

人生初の献血をしました。自分の体に流れていた血液が、誰かの命を救うことに役立つと思うと感慨深いです。 (Mさん)

私は貧血で献血をやりたくてもできませんでした。しかし、血液センターの方が「献血をすることだけが全てではない。できなくても献血を呼びかけることもとても大切である。」と教えてくださいました。一人でも多くの方の命が救われるように、自分のできることを行動に移していこうと強く思いました。 (Hさん)

